

	国内・対外関係	古墳文化
4世紀	369年 奈良県石上神宮七支刀(石上神宮[物部氏の氏神]に所蔵されている) (泰和4年) 百済の肖古王が倭王に贈った、表裏に金文で61文字の銘文がある鉄剣 391年 朝鮮出兵(目的=朝鮮半島の先進技術と鉄資源の獲得のため) (辛卯の年) 百済・新羅・加羅に侵攻してきた高句麗の好太王(広開土王)の軍に敗れる in「高句麗好太王碑文」(子の長寿王が高句麗の都の丸都に建立)	— [渡来人の来日(応神天皇期の5世紀初め)] — 弓月君(秦氏の祖) ★養蚕・機織りを伝える 阿知使主(東漢氏の祖) ★東漢氏と西文氏は東・西 主仁(西文氏の祖) 史部(文筆を担当)を管理 ★『論語』・『千字文』(識字・習字テキスト)を伝える
5世紀	5世紀 倭の五王が南朝の宋へ遣使 in『宋書』倭国伝 目的=朝鮮半島南部をめぐる外交・軍事上の立場を有利にするため 421年 倭国王讃(応神天皇 or 仁徳天皇 or 履中天皇)が宋に遣使 438年 倭国王珍(仁徳天皇 or 反正天皇)が宋に遣使 443年 倭国王済(允恭天皇)が宋に遣使 462年 倭国王興(安康天皇)が宋に遣使 478年 倭国王武(雄略天皇)が宋に遣使 (順帝の昇明二年) 宋の順帝から6国の軍事的支配権を持つ「安東大將軍倭王」に叙任される →以前から南朝に朝貢し、軍事的支配権を認められていた百済は除かれた	— [ヤマト政権の支配拡大] — 熊本県江田船山古墳出土鉄刀 无利豆が「獲□□□大王」に典曹人として仕える 埼玉県稻荷山古墳出土鉄剣(471)(辛亥年) 乎獲居臣が「獲加多支鹵大王」に杖刀人首として仕える ★「獲加多支鹵大王」→雄略天皇に比定される 和歌山県隅田八幡神社人物画像鏡(503?) 銅鏡に48字の銘文を記す(即位前の継体天皇時?)
継体	507年 継体天皇が即位(武烈天皇の死後、大伴金村[大連]が越前から迎える) ← ★6世紀以降、国家体制を固めていった新羅が高句麗・百済・伽耶へ勢力拡大 512年 大伴金村[大連]が任那(伽耶諸国)4県を百済に割譲 ★のち、物部尾興から賄賂を受け取っていたことなどを糾弾され失脚(540) 527年 磐井の乱(新羅と通じていた磐井[筑紫国造]が起こした反乱) 近江毛野を将とするヤマト政権の任那救援・新羅征討軍を阻むため反乱 →物部麁鹿火が鎮圧(福岡県の岩戸山古墳は磐井の墓と推定される)	513年~百済から五経博士が来日(儒教の伝来) ★五経=「易経」「詩経」「書経」「礼記」「春秋」 →のち、易博士・暦博士・医博士も来日 522年 司馬達等が私宅で仏像を礼拝(仏教私伝) in『扶桑略記』(皇円が著した歴史書)
欽明	562年 新羅により伽耶諸国(加羅・任那)滅亡 — [崇仏論争] — (崇仏派) (排仏派) 蘇我稲目[大臣] VS 物部尾興[大連] 蘇我馬子[大臣] VS 物部守屋[大連]	— [仏教公伝(6世紀)] — 百済の聖明王が欽明天皇に仏教を伝える 538年(戊午)説=『上宮聖德法王帝説』 『元興寺縁起』 552年(壬申)説=『日本書紀』
敏達		
用明	587年 丁未の乱(蘇我馬子が物部守屋を滅ぼす) 用明天皇(厩戸王[聖德太子]の父)の死後、皇位継承争いをめぐり対立 →戦後、厩戸王(聖德太子)は難波に四天王寺・蘇我馬子は法興寺(飛鳥寺)を建立	
崇峻	592年 蘇我馬子が崇峻天皇を暗殺(実行犯は東漢直駒) ★石舞台古墳(奈良県)は蘇我馬子の墓と比定される	



— [社(氏の祖先神である氏神・自然神を祀る)] —

伊勢神宮(三重県)(天照大神を祀る) ★神明造(伊勢神宮の建築様式)

出雲大社(島根県)(大国主神を祀る) ★大社造(出雲大社の建築様式)

住吉大社(大阪府)(海神を祀る) ★住吉造(住吉大社の建築様式)

大神神社(奈良県)(三輪山を神体とする)

宗像大社(福岡県)(沖ノ島を神体とする)

★沖ノ島=玄界灘に浮かぶ島で、海の正倉院と呼ばれる

— [習俗] —

禊(けがれなどを水で清める)・**祓**(けがれなどを払い除ける)

太占の法(鹿の肩甲骨を焼いて、その割れ具合で今後の吉凶を占う)

盟神探湯(熱湯に手を入れて、火傷の有無によって真偽を確かめる原始的裁判)

祈年祭(春に行う豊作を祈願する農耕儀礼)

新嘗祭(秋に行う収穫を感謝する農耕儀礼)

★天皇即位の年に行われるものを特に大嘗祭という(天武朝から開始か?)

[B] ヤマト政権の政治制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

氏姓制度

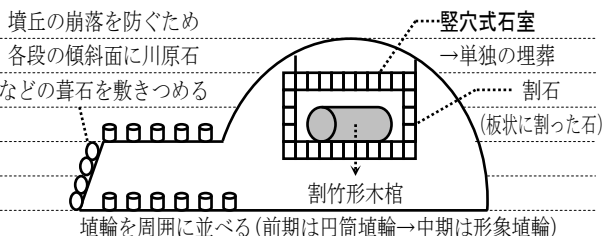
氏姓制度

前期(4世紀)	中期(5世紀)	後期(6世紀)
①弥生時代から、武器や農具に加工する鉄資源の確保は豪族にとって必要不可欠		
②鉄資源の入手ルートは中国→百済・新羅→伽耶諸国→九州北部→瀬戸内・畿内で		
あるため、畿内・瀬戸内の豪族は不利	①ヤマト政権の支配地域が九州～関東にまで全国に拡大	ヤマト政権に各地の豪族が服属
③鉄資源を確保するため、大王家を中心に畿内・瀬戸内の豪族が連合(ヤマト政権)	ex. 熊本県江田船山古墳出土鉄刀	①服属した豪族たちはヤマト政権の支配下に組み込まれ氏となる
④but...4世紀後半から高句麗が南下政策→高句麗が百済・新羅・伽耶諸国を圧迫	埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣	②それぞれの氏の家柄・地位に応じて臣・連などの姓という称号を与える
⑤鉄資源を確保するため、朝鮮出兵(391)	②国内の諸豪族の支配を安定させるため、南朝の宋に朝貢し安東大將軍の称号を賜る	=氏姓制度(5世紀後半～)

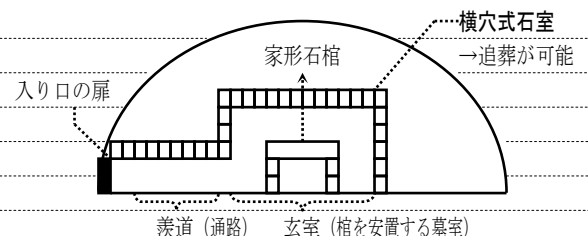
[A] 古墳の変遷

	前期(3世紀後半～4世紀)	中期(4世紀末～5世紀)	後期(6世紀～7世紀)
支配体制	①大王家を中心に畿内・瀬戸内の豪族が連合したヤマト政権が成立 ②結束のため画一的な前方後円墳を築造	①ヤマト政権の支配地域が関東～九州まで全国的に拡大(古墳が東北地方にも分布) ②特に畿内中央部の勢力が強大化	①大王(ヤマト政権)に各地の豪族が服属 ②農業生産力の向上→有力農民の台頭 →ヤマト政権の支配下に組み込む
地域	畿内中心(丘陵・台地に多い) ★瀬戸内海沿岸にも発生	全国に拡大(平野に巨大な墳墓)	全国に分布(山間にも築造)
形態	前方後円墳(西日本に多い) 前方後方墳(東日本に多い) 円墳(円形の古墳)・方墳(方形の古墳)	規模が巨大化	規模が縮小 群集墳(小規模な円墳の集まり)
埋葬構造	竪穴式石室 ★墳丘の崩落を防ぐために葺石を葺く 粘土槨(木棺の周りを粘土で固める)		横穴式石室(朝鮮半島の影響を受ける) ★内部に羨道(通路)・玄室(棺を安置する室) 横穴墓(丘陵の斜面などに水平に掘る)
埴輪	円筒埴輪(筒形のものなど) ★土留め・葬列模倣・殉死代用などの説	形象埴輪(家・動物・人物などをかたどる) ★家形埴輪・器材埴輪・人物埴輪・動物埴輪	減少
内部	割竹形木棺	長持形石棺	家形石棺
副葬品	銅鏡・勾玉(呪術的・宗教的なもの) ★副葬品として碧玉製腕飾(装身具)も出土 →ex. 三角縁神獸鏡(約400面発見) 同範鏡(同じ鋳型で作った鏡) 舶載鏡(中国などで作った鏡) 仿製鏡(舶載鏡を模倣して作った鏡)	武具・馬具(軍事的なもの) ★高句麗の騎馬軍団との戦いで、倭人たちは騎馬技術を学び、馬具が副葬されるようになる cf. 騎馬民族征服王朝説(江上波夫が提唱) →大陸から騎馬民族が九州へ渡来し、近畿へ移動して征服王朝をつくったとする説	日常生活用具(須恵器・土師器などの土器) [土器] 土師器(弥生土器の系譜→赤褐色) 須恵器(朝鮮半島から伝来→黒灰色) ★ろくろを使用し、のぼり窯で焼成
被葬者	司祭者的性格の首長	武人的性格の首長	有力農民の台頭 ★古墳時代に農業生産力が向上したことが背景 ex. 渡来人の伝えたU字型鍬先・鋤先や 曲刀鎌など鉄製農具の普及、乾田の普及
代表例	箸墓古墳(奈良県) 纏向遺跡(奈良県)の遺跡内にある 前期古墳の中で最大・最古の前方後円墳 →倭迹迹日百襲姫命が被葬者 椿井大塚山古墳(京都府) 32面の三角縁神獸鏡が出土した前方後円墳 浦間茶臼山古墳(岡山県) 前期古墳としては中国地方最大の前方後円墳	大仙陵(大山)古墳(大阪府)(全国1位) 百舌鳥古墳群の中心で、徳天皇陵とされる 誉田御廟山古墳(大阪府)(全国2位) 古市古墳群の中心で、応神天皇陵とされる ミサンザイ古墳(大阪府)(全国3位) 百舌鳥古墳群の一つで、履中天皇陵とされる 造山古墳(岡山県)(全国4位・中国地方最大) 作山古墳(岡山県)(全国9位・中国地方2位) 太田天神山古墳(群馬県)(全国27位) 東日本で最大の前方後円墳	岩橋千塚古墳(和歌山県)(群集墳) 新沢千塚古墳(奈良県)(群集墳) 吉見百穴古墳(埼玉県)(横穴墓) 藤ノ木古墳(奈良県法隆寺の西にある円墳) 金銅製の服飾具・精巧な馬具などの副葬品が出土 装飾古墳(墓室に彩色画・彫刻を施した古墳) 高松塚古墳(奈良県)・竹原古墳(福岡県)が代表
終末期古墳	646年 薄葬令(大化の改新に際して、身分に応じた墳墓の大きさ・築造日数を定める=墳墓の築造を簡素化) 薄葬令により巨大古墳が禁止されたこと、仏教の伝来により火葬が一般化、寺院や仏院が豪族の権威の象徴となったため、以降古墳は衰退 →終末期古墳(7世紀後半～8世紀にかけての特殊な古墳) ex. 石舞台古墳(蘇我馬子の墓?)・高松塚古墳・キトラ古墳・酒船石遺跡(斉明天皇期の遺跡)(全て奈良県明日香村(飛鳥の中心地域)で発見) 八角墳(7世紀後半の正八角形の古墳で、御園野古墳(京都府の天智天皇陵)・野口王墓古墳(奈良県明日香村の天武・持統天皇陵)が有名)		

図解 NOTE① [竪穴式石室]



図解 NOTE② [横穴式石室]



	国内・対外関係	古墳文化
4世紀	____年 ____県 (____ [____氏の氏神]に所蔵されている) (泰和4年) ____の____が倭王に贈った、表裏に金石文で61文字の銘文がある鉄剣 ____年 朝鮮出兵 (目的=朝鮮半島の先進技術と鉄資源の獲得のため) → (辛卯の年) 百済・新羅・加羅に侵攻してきた高句麗の____(____)の軍に敗れる in「____」(子の____が高句麗の都の____に建立)	「____の来日 (____天皇期の5世紀初め)」 ____(秦氏の祖) ★養蚕・機織りを伝える ____(東漢氏の祖) } ★東漢氏と西文氏は東・西 ____(西文氏の祖) } ____ (文筆を担当)を管理 ★『____』『____』(識字・習字テキスト)を伝える
5世紀	5世紀 倭の五王が南朝の____へ遣使 in『____』 目的=朝鮮半島南部をめぐる外交・軍事上の立場を有利にするため 421年 倭国王____(応神天皇 or 仁德天皇 or 履中天皇)が宋に遣使 438年 倭国王____(仁德天皇 or 反正天皇)が宋に遣使 443年 倭国王____(____天皇)が宋に遣使 462年 倭国王____(____天皇)が宋に遣使 ____年 倭国王____(____天皇)が宋に遣使 (順帝の昇明二年) 宋の____から6国の軍事的支配権を持つ「____倭王」に叙任される →以前から南朝に朝貢し、軍事的支配権を認められていた百済は除かれた	「ヤマト政権の支配拡大」 ____県 古墳出土鉄刀 ____が「獲□□□大王」に典曹人として仕える ____県 古墳出土鉄剣(____年)(辛亥年) ____臣が「獲加多支鹵大王」に杖刀人首として仕える ★「獲加多支鹵大王」→____天皇に比定される ____県 (____年?) 銅鏡に48字の銘文を記す(即位前の____天皇時?)
	507年 ____天皇が即位(____天皇の死後、____(大連)が越前から迎える) ← ★6世紀以降、国家体制を固めていった新羅が高句麗・百済・伽耶へ勢力拡大 ____年 ____ (大連)が任那(伽耶諸国)4県を____に割譲 ↓ ★のち、____から賄賂を受け取っていたことなどを糾弾され失脚(____年) ____年の乱(____と通じていた____[____]が起した反乱) ____を将とするヤマト政権の任那救援・新羅征討軍を阻むため反乱 →____が鎮圧(福岡県の____古墳は磐井の墓と推定される)	513年～____から____が来日(儒教の伝来) ★五経=「____」「____」「____」「____」「____」 →のち、____博士・____博士・____博士も来日 ____年 ____が私宅で仏像を礼拝(仏教私伝) in『____』(皇円が著した歴史書)
	____年 ____により伽耶諸国(加羅・任那)滅亡 ____ [崇仏論争] (崇仏派) ____ VS (排仏派) ____ ____ VS ____	「仏教公伝(6世紀)」 ____の____が____天皇に仏教を伝える ____年(____)説=『____』 ____年(____)説=『____』
	____年 丁未の乱(____が____を滅ぼす) ____天皇(厩戸王(聖徳太子)の父)の死後、皇位継承争いをめぐり対立 →戦後、厩戸王(聖徳太子)は難波に____寺・蘇我馬子は____寺(飛鳥寺)を建立	____(現、中国の吉林省集安市) 
	____年 ____が____天皇を暗殺(実行犯は東漢直駒) ★____古墳(____県)は蘇我馬子の墓と比定される	

「____(氏の祖先神である____・自然神を祀る)」

____(三重県)(____を祀る)★____(伊勢神宮の建築様式)

____大社(島根県)(____を祀る)★大社造(出雲大社の建築様式)

____大社(大阪府)(____を祀る)★住吉造(住吉大社の建築様式)

____神社(奈良県)(____を神体とする)

____大社(____県)(____を神体とする)

★沖ノ島=玄界灘に浮かぶ島で、海の正倉院と呼ばれる

「習俗」

____(けがれなどを水で清める)・____(けがれなどを払い除ける)

____(鹿の肩甲骨を焼いて、その割れ具合で今後の吉凶を占う)

____(熱湯に手を入れて、火傷の有無によって真偽を確かめる原始的裁判)

____(春に行う豊作を祈願する農耕儀礼)

____(秋に行う収穫を感謝する農耕儀礼)

★天皇即位の年に行われるものを特に____という(天武朝から開始か?)

[B] ヤマト政権の政治制度

氏 姓 制 度	(豪族を大王家中心の支配体制に組み入れるための政治的身分秩序) = <u>血縁的結びつき</u>を中心に構成された擬制的同族集団 (もと豪族) → <u> </u> (首長)・<u> </u> (一般構成員) から構成され、部民や<u> </u> (奴隸) を隷属させる ★ <u> </u> (民衆の集落と離れた場所に造営され、周囲に環濠や柵をめぐらした豪族の居住地) ex. <u> </u> 遺跡 (群馬県で日本で最初に発見された古墳時代後期の豪族の居館跡) = <u>それぞれの氏の職務や家柄など社会的地位に応じて、ヤマト政権から与えられた称号 (世襲制)</u> <u> </u> (地名を氏の名とし、大王家から分かれたとされる大和地方的有力豪族に与えられる) ex. <u> </u> 臣 (<u> </u> { <u> </u>・<u> </u>・<u> </u> } を管理)・<u> </u> 臣・<u> </u> 臣 <u> </u> (特定の職能で仕えた有力豪族 [有力伴造豪族] に与えられる) ex. <u> </u> 連・<u> </u> 連 (軍事)・<u> </u> 連 (祭祀) <u> </u> (地方の有力豪族に与えられる) <u> </u> (地方の一般豪族に与えられる)	図解 NOTE [ヤマト政権の職掌] ①ヤマト政権は<u>特定の職務を</u> <u>豪族が分担</u> (1) 重要職務は有力伴造豪族「連」が担当 ex. 軍事=<u> </u>・<u> </u>, 祭祀=<u> </u> (2) それ以外の職務は一般伴造豪族が担当 ex. 機織=秦氏・文筆=<u> </u>氏・<u> </u>氏 ②大王家から分かれたとされる大和地方的 「臣」は特定の職務なし→主な「臣」は衰退 ③焦った <u> </u> 氏はヤマト政権の財政を担当 →各地に <u> </u>, <u> </u>・<u> </u> を設置 →貢納品を <u> </u> (<u> </u>・<u> </u>・<u> </u>) で管理
	(中央) <u> </u> (7世紀末に天皇の称号を採用) <u> </u> (臣姓から任命) <u> </u> (連姓から任命) ↓ 大夫 (臣・連の有力者から任命) ↓ <u> </u> (特定の職務を担当する小豪族) ↓ <u> </u> (伴造の補佐) ↓ <u> </u> (特定の職務にあたる技術者集団) ex. <u> </u> (錦を織る品部) <u> </u> (鉄製品を製造する品部) <u> </u> (馬具の鞍を製作する品部) <u> </u> (土師器を生産する品部) <u> </u> (須恵器を生産する品部) <u> </u> (外交文書を作成する品部)	

[地方]

- (畿内の朝廷の直轄領や、畿外の地方地域を支配)
- (ヤマト政権から任命され、複数の郡程度の地方地域を支配)
- ★ヤマト政権の屯倉、子代・名代を管理→律令制下で郡司となる
- (国造・県主と並び地方を支配→八色の姓で最下位となる)

[私地私民制] (大王家と豪族が土地・人民を個別に支配する体制)

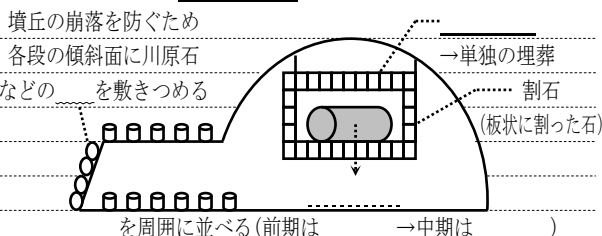
大王(朝廷)	豪族
直轄地= <u> </u> (<u> </u> が耕作)	私有地= <u> </u> (部曲が耕作)
直轄民= <u> </u> ・ <u> </u>	私有民= <u> </u> (蘇我部など)
<u> </u> () (労働集団の総称)	<u> </u> () (氏に隷属する奴隸)

前期 (4世紀)	中期 (5世紀)	後期 (6世紀)
①弥生時代から、武器や農具に加工する鉄資源の確保は豪族にとって必要不可欠 ②鉄資源の入手ルートは中国→百済・新羅→伽耶諸国→九州北部→瀬戸内・畿内であるため、畿内・瀬戸内の豪族は不利 ③鉄資源を確保するため、<u> </u> 家を中心に <u> </u> 畿内・瀬戸内の豪族が連合(ヤマト政権) ④but...4世紀後半から高句麗が南下政策→高句麗が百済・新羅・伽耶諸国を圧迫 ⑤鉄資源を確保するため、朝鮮出兵(<u> </u> 年)	①ヤマト政権の支配地域が九州～関東にまで全国に拡大 ex. <u> </u> 県 <u> </u> 古墳出土鉄刀 <u> </u> 県 <u> </u> 古墳出土鉄剣 ②国内の諸豪族の支配を安定させるため、南朝の <u> </u> に朝貢し <u> </u> の称号を賜る	ヤマト政権に各地の豪族が服属 ①服属した豪族たちはヤマト政権の支配下に組み込まれ となる ②それぞれの氏の家柄・地位に応じて <u> </u> などの <u> </u> という称号を与える = <u> </u> (5世紀後半～)

[A] 古墳の変遷

	前期(3世紀後半～4世紀)	中期(4世紀末～5世紀)	後期(6世紀～7世紀)
支配体制	① <u>家を中心に畿内・瀬戸内の豪族が連合したヤマト政権が成立</u> ② 結束のため画一的な前方後円墳を築造	① ヤマト政権の支配地域が <u>関東～九州まで全国的に拡大</u> (古墳が東北地方にも分布) ② 特に畿内中央部の <u>勢力が強大化</u>	① 大王(ヤマト政権)に各地の豪族が <u>服属</u> ② 農業生産力の向上→ <u>有力農民の台頭</u> →ヤマト政権の支配下に組み込む
地域	<u>畿内中心</u> (丘陵・台地に多い) ★瀬戸内海沿岸にも発生	<u>全国に拡大</u> (平野に巨大な墳墓)	<u>全国に分布</u> (山間にも築造)
形態	<u>前方後円墳</u> (東日本に多い) 円墳(円形の古墳)・方墳(方形の古墳)	規模が <u>巨大化</u>	規模が <u>縮小</u> (小規模な <u> </u> の集まり)
埋葬構造	★墳丘の崩落を防ぐために <u> </u> を葺く (木棺の周りを粘土で固める)		(朝鮮半島の影響を受ける) ★内部に <u> </u> (通路)・ <u> </u> (棺を安置する室) (丘陵の斜面などに水平に掘る)
—	(筒形のものなど) ★土留め・葬列模倣・殉死代用などの説	(家・動物・人物などをかたどる) ★家形埴輪・器材埴輪・人物埴輪・動物埴輪	減少
内部		長持形石棺	
副葬品	<u>銅鏡・勾玉</u> (呪術的・宗教的なもの) ★副葬品として <u> </u> (装身具)も出土 ex. <u> </u> (約400面発見) ★ <u> </u> (同じ鋳型で作った鏡) 舶載鏡(中国などで作った鏡) 仿製鏡(舶載鏡を模倣して作った鏡)	<u>武器・馬具</u> (軍事的なもの) ★高句麗の騎馬軍団との戦いで、倭人たちは騎馬技術を学び、馬具が副葬されるようになる cf. 騎馬民族征服王朝説(<u> </u> が提唱) →大陸から騎馬民族が九州へ渡来し、近畿へ移動して征服王朝をつくったとする説	<u>日常生活用具</u> (須恵器・土師器などの土器) [土器] (弥生土器の系譜→赤褐色) (朝鮮半島から伝来→黒灰色) ★ <u> </u> を使用し、 <u> </u> で焼成
被葬者	<u>司祭者的性格の首長</u>	<u>武人的性格の首長</u>	<u>有力農民の台頭</u> ★古墳時代に農業生産力が向上したことが背景 ex. 渡来人の伝えた <u> </u> 鋸先・鋤先や <u> </u> など鉄製農具の普及、 <u> </u> の普及
代表例	<u>古墳(県)</u> <u> 遺跡(県)</u> の遺跡内にある 前期古墳の中で最大・最古の前方後円墳 →倭迹迹日百襲姫命が被葬者 椿井大塚山古墳(京都府) 32面の三角縁神獣鏡が出土した前方後円墳 浦間茶臼山古墳(岡山県) 前期古墳としては中国地方最大の前方後円墳	<u>古墳(県)</u> (全国4位) <u> </u> の中心で、 <u> </u> 天皇陵とされる <u>古墳(大阪府)</u> (全国2位) <u> </u> の中心で、 <u> </u> 天皇陵とされる <u>古墳(大阪府)</u> (全国3位) 百舌鳥古墳群の一つで履中天皇陵とされる <u>古墳(県)</u> (全国4位・中国地方最大) <u>古墳(岡山県)</u> (全国9位・中国地方2位) <u>古墳(群馬県)</u> (全国27位) 東日本で最大の前方後円墳	<u>古墳(県)</u> (群集墳) <u>古墳(奈良県)</u> (群集墳) <u>古墳(埼玉県)</u> (横穴墓) <u>古墳(奈良県法隆寺の西にある円墳)</u> 金銅製の服飾具・精巧な馬具などの副葬品が出土 <u>古墳(墓室に彩色画・彫刻を施した古墳)</u> 高松塚古墳(奈良県)・竹原古墳(福岡県)が代表
終末期古墳	年 <u> </u> (大化の改新に際して、身分に応じた墳墓の大きさ・築造日数を定める＝墳墓の築造を簡素化) 薄葬令により巨大古墳が禁止されたこと、仏教の伝来により火葬が一般化、寺院や仏院が豪族の権威の象徴となったため、以降古墳は衰退 →終末期古墳(7世紀後半～8世紀にかけての特殊な古墳) ex. <u> </u> 古墳(<u> </u> の墓?)・ <u> </u> 古墳・ <u> </u> 古墳・ <u> </u> 遺跡(斉明天皇期の遺跡)(全て <u> </u> 県(飛鳥の中心地域)で発見) <u> </u> (7世紀後半の正八角形の古墳で、御園野古墳(京都府の天智天皇陵)・野口王墓古墳(奈良県明日香村の天武・持統天皇陵)が有名)		

図解 NOTE① []



図解 NOTE② []

